

HITACHI

会社案内



株式会社 日立情報通信エンジニアリング

企業理念

社会において果たすべき使命、存在理由

日立創業の精神の下、 優れた情報通信技術で社会に貢献する

2025 年は、日本の『モノづくり』が輝く年となることを願っています。これからますます日常生活にAIが浸透し、労働力を補い、安心・安全な社会の実現へと進化していくでしょう。クラウド主体のDX化に加え、現場のデバイスやエッジのポテンシャルはAIによってさらに高まります。クラウドとデバイスがつながり、各々のデバイスにAIを実装し、相互に協調する新たな動きとなり、あらゆる産業機器や社会インフラが応えます。これこそが、皆さまと共に日立情報通信エンジニアリングがめざす姿です。

我々が過去に注力してきた事業やテクノロジーには、テレコミュニケーション、ネットワーキング、自動車などの移動体・ヘルスケア・そして半導体に関するエンジニアリングが含まれます。これらの連携や成長戦略については度々お問い合わせをいただきましたが、今こそパートナーの皆さまへ、基礎技術の融合とシナジーを通じてお手伝いできればと考えています。テレコムは人と社会のコミュニケーションを活性化し、セキュアかつ高性能なネットワーキングでそれらをつなぎ、エンジニアリングがカスタマイズやローカライズの最適化を図ります。

さらなるAI活用にも取り組み、これらのテクノロジーを受託開発やエンジニアリングサービスに展開し、お客さまのご要望に具体的にお応えできるよう、尽力してまいります。

経営ビジョン

企業理念を実現するため、なりたい姿に向けた、果たすべきこと

エンジニアリングとネットワーキングのシナジーを最大限に生かし、
お客さまのニーズに応える最適なソリューションを提供することを使命とします。
誠実さと透明性を持って、テクノロジーを駆使し、
持続可能な社会の実現に寄与します。

日立情報通信エンジニアリングは、お客さまやパートナーの皆さまとともに、これらの要素技術を駆使し、次世代へ向かって進んでいきたいと考えています。

日立には多様な事業やサービスがあり、「One Hitachi」の精神のもと、会社活動や社会貢献活動を一体化したチームが、お客さまに最適なソリューションを提供します。我々一社では成し得ないことも、日立グループ各社のノウハウや知見を生かすことで、皆さまと共に高度なソリューションサービスを通じて社会や市場に貢献してまいります。

日立情報通信エンジニアリングは、長い歴史を積み重ねてきた中で、お客さまやパートナーの皆さまからの叱咤激励を受けて成長してきました。
止めてはならない社会インフラや、誤ってはならないデータ基盤といったさまざまな開発や製品を通じて、お客さまの声やご要望にお応えすることを大切にしています。

当社の企業理念は「日立創業の精神の下、優れた情報通信技術で社会に貢献する」ことであり、お客さまやパートナーの皆さまと共に歩んでいきたいと考えています。

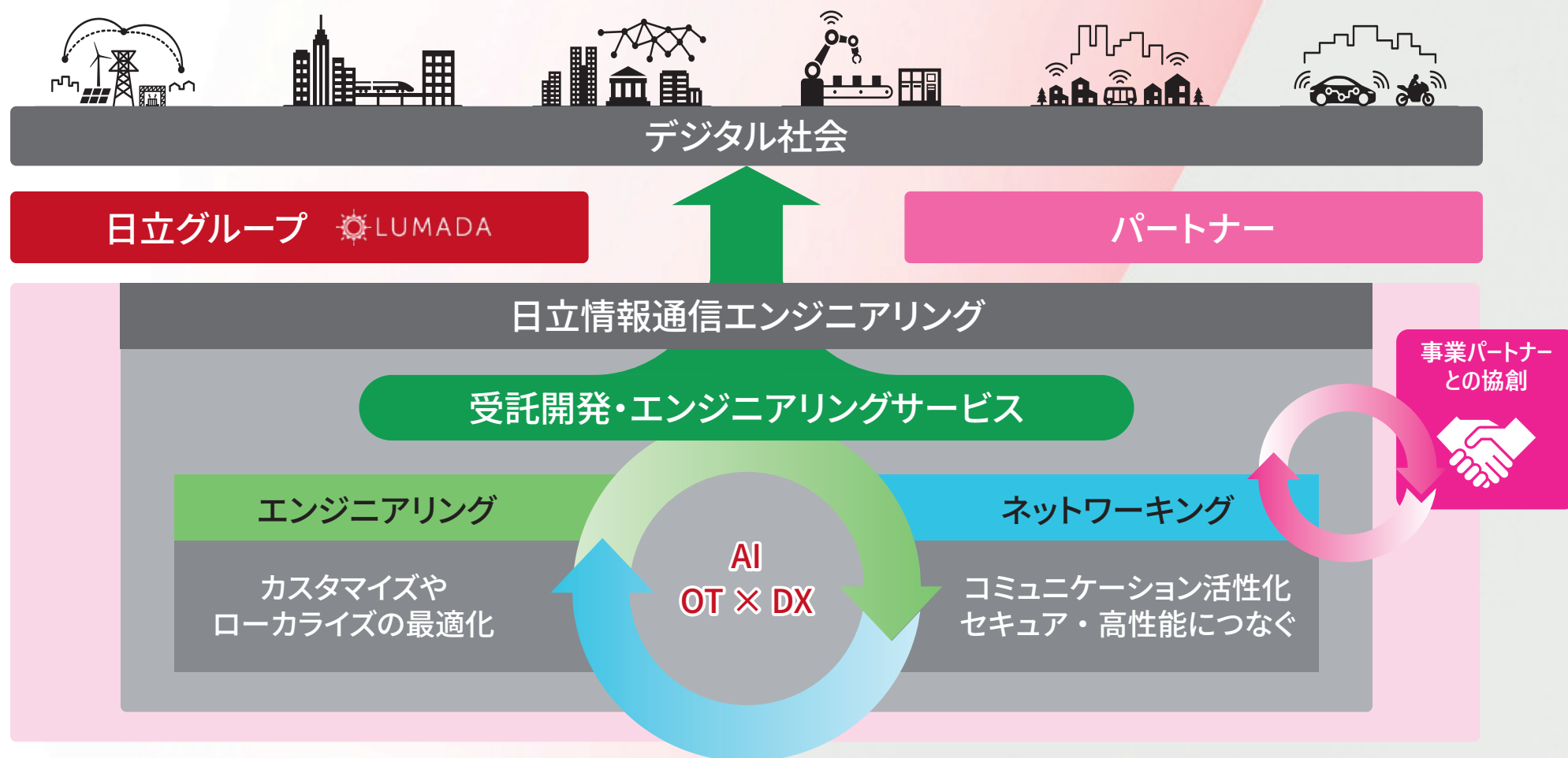


株式会社 日立情報通信エンジニアリング
代表取締役 取締役社長

中野 俊夫

私たちのめざす姿

エンジニアリング × ネットワーキングの強みを融合させ、獲得したケイパビリティを生かすとともに、OT × DX、さらにAIを活用し、受託開発・エンジニアリングサービスを提供、パートナーとともにデジタル社会の発展に貢献します。



エンジニアリング事業紹介

お客さまが抱える共通課題に対して、当社ノウハウをメニュー化したメニューベースエンジニアリングサービス、要件定義・開発から少量多品種を含めた量産品製造までの全工程を一括対応する受託開発を提供

要素技術

画像認識/処理

デジタル・アナログ技術を基に、ハードウェア/ソフトウェア両面にて最適な画像処理を実現し、画像認識による高度な解析を支援



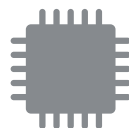
通信技術

あらゆる分野での超高速伝送、低遅延、高信頼な有線/無線通信のハードウェア・ソフトウェアを開発



FPGA/LSI 設計

高速・高集積LSIの設計技術の蓄積とモデルベース開発の手法により、高品質なFPGAの論理設計からリターゲティングまで対応



組み込みソフトウェア

多様なニーズに対し、ハードウェア開発との両面から各種アプリケーション、ライブラリ、ドライバを開発



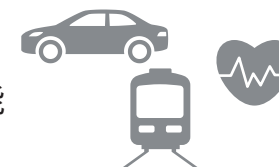
クラウド・データ基盤

通信やデータ利活用などの技術を用いたプラットフォーム設計/開発と、暗号化・認証認可などにより、セキュアなクラウド環境の構築を支援



機能安全・サイバーセキュリティ

機能安全とサイバーセキュリティの両面で、規格に準拠した開発プロセス、技術で幅広い開発領域を包括的に対応可能



市場ニーズと技術の進化に応じた独自技術

エッジAI/生成AIエンジニアリング

- GPU^{*1} やAI活用の実績をもとに、AIモデル要件に最適なデバイス構成の事前検証と選定、開発・チューニング、使いこなしを支援
- SLM/LLM^{*2} など生成AIモデルの開発を支援

^{*1} GPU : Graphics Processing Unit ^{*2} SLM/LLM : Small Language Model / Large Language Model

エネルギーマネジメント

- 電力変換、バッテリー制御、ハードウェア制御など、さまざまな技術連携のノウハウ・長年の実績を用いてGX^{*3} の課題解決を支援
- 多数のEV充放電器の一括制御を軸としたEMS^{*4} サービスを提供

^{*3} GX : Green Transformation ^{*4} EMS : Energy Management System



提供形態

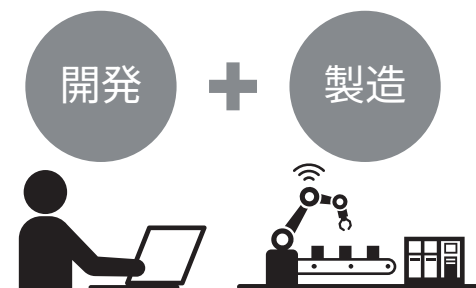
メニューベース エンジニアリングサービス

多様な分野の受託開発で培った豊富なノウハウをメニュー化、要望に合わせた高信頼で最適なサービスをスピーディーに提供



製品開発向けワンストップ型エンジニアリング

情報通信、医療、産業分野での製品開発の知見を生かし、要件定義・開発から試作、さらに少量多品種を含めた量産品の製造受託など、すべての工程を一括して対応



PDF 画面からは QR コードをクリックまたはタップで該当ページが開きます。

ネットワーキング事業紹介

企業LANからWANなどのクラウド環境に加え、工場のOT ネットワーキングなど、お客さまのニーズに対して、AIを活用しながら、高度で柔軟性の高い安全なネットワークの構築と運用・保守まで対応

ハイブリッドクラウドネットワーキング

豊富なネットワークインテグレーションの実績を活用し、お客さまの要件に応じたAIインフラも含む最適なプラットフォーム基盤を構築、セキュアで堅牢なハイブリッドクラウド環境を実現



OTネットワーキング

IT ネットワークで培ったミッションクリティカルネットワークのナレッジ活用により、DX化が加速するOTネットワーク領域に対して適材適所かつ高品質なネットワークソリューションを提供



ネットワークセキュリティ

IT/OTの領域を問わず、お客さまのセキュリティポリシーに応じた適切なSASE^{*1} 商材を用い、政府や業界のセキュリティガイドラインにも沿ったセキュアなネットワーク接続を提供



^{*1} SASE : Secure Access Service Edge

無線ネットワーキング

最新無線規格と高精度なシミュレーションを利用し、利用環境やお客さまの要件に応じた製品（ローカル5G/Wi-Fi など）を選定することで、ベストパフォーマンスで安定した運用が可能な無線ネットワークを迅速に構築



マネージドサービス

クラウドセキュリティ商材（SASE/SD-WAN^{*2}）を活用し、機器・ライセンスおよび管理・運用代行も含めたサービスをサブスクリプション型で提供



^{*2} SD-WAN : Software Defined Wide Area Network

テレコミュニケーション

オフィスや社会インフラを支えるコミュニケーション基盤（オンプレミス・クラウド）に加え、ワークスタイル変革を実現するソリューションを提供



モノづくり経験が生きるサプライチェーンマネジメント

高信頼な生産技術を活用し、日立グループ共通IT基盤を利用したDX化などの効率化やライフサイクル全体でカーボンニュートラルを進めるなど、サプライチェーンマネジメント強化を図っています。

これに加え長年培ってきたモノづくり経験をお客さまのカスタム製品の長期サポートや少量多品種を含めた量産品の製造受託に役立てています。

調達

生産

品質検査

物流

販売

保守

リサイクル

業務効率化/DX化推進

高効率



高信頼



環境配慮



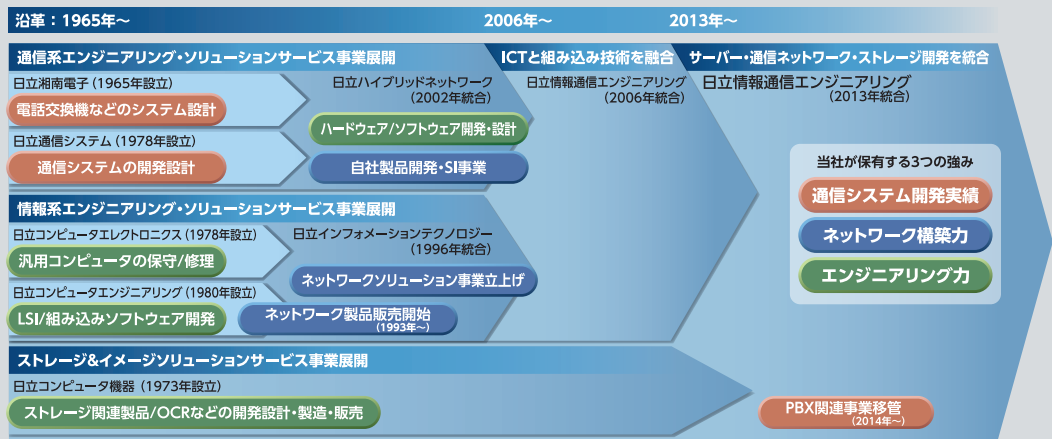
日立グループ共通IT基盤

会社概要

概要

商 号：株式会社 日立情報通信エンジニアリング
設立年月日：1965 年 9 月 21 日（2013 年 4 月 1 日～ 株式会社 日立情報通信エンジニアリング）
本社所在地：〒220-6122 神奈川県横浜市西区みなとみらい 2 丁目 3 番 3 号
代 表 者：代表取締役 取締役社長 中野 俊夫
資 本 金：13 億 5 千万円
売 上 高：約 722 億円（2024 年度）
従 業 員 数：2,916 名（2025 年 3 月 31 日現在）

沿革



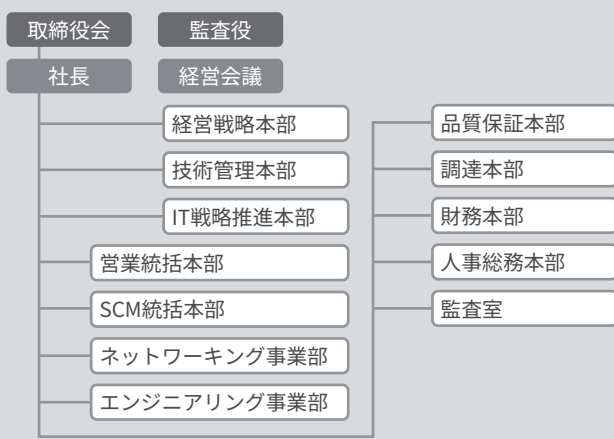
認証と資格

- 品質マネジメントシステム ISO9001 認証取得 [JQA-2482]
- 自動車—サイバーセキュリティエンジニアリング ISO/SAE 21434 認証取得 [FS/71/220/24/1295]
- 建設業許可（電気通信）[国土交通大臣許可（般-3）第 22037 号]
- 第二種医療機器製造販売業許可 [許可番号：14B2X10018]
- 環境マネジメントシステム ISO14001 認証取得 [JQA-EM0475]
- プライバシーマーク [第 10300023 号]
- 古物営業許可 [神奈川県公安委員会許可 第 451430003732 号]
- 医療機器修理業許可 [許可番号：14BS200247]

役員

代表取締役 取締役社長	中野 俊夫
取締役 常務執行役員	榊原 広嗣
取締役 常務執行役員	平田 博之
執行役員	岩見 健太郎
執行役員	田川 聡一郎
執行役員	山本 政信
執行役員	吉田 賢一郎

組織



営業拠点

本社（神奈川県横浜市） 中部支店（愛知県名古屋市）
北日本支店（宮城県仙台市） 関西支店（大阪府大阪市）
茨城支店（茨城県ひたちなか市） 九州支店（福岡県福岡市）

会社の取り組み

健康経営

「健康経営優良法人(大規模法人部門)」に8年連続で認定されました。「安全と健康を守ることは全てに優先する」という日立グループ安全衛生ポリシーに基づき、従業員の健康の維持・増進を促進しています。また、活発なコミュニケーションの機会を設けることで心理的安全性を高め、風通しの良い組織風土づくりを進めています。



人財育成

当社では、エンジニアリングサービスを提供するため、デバイスやハードウェア基盤、組み込みソフトウェアの知識・技術を理解し、活用できるエンジニアの育成に力を入れています。また、ジョブ型人材マネジメントの導入により、社員一人一人のキャリア開発やポジションにあわせたスキル向上を支援しています。さらに2万以上のオンライン講座や各種研修に加えて、資格取得を奨励する制度も整え、次世代を担う「人財」を育成し続けています。

DEI*

従業員一人一人の多様な能力や発想を最大限に生かすため、公正な機会を確保し、誰もが尊重され組織の一員であると感じられる多様でインクルーシブな企業をめざしています。日立グループ DEI 戦略に基づくアクションのほか、当社の重要トピックスに焦点を当てた施策を全社で推進し、多様性を尊重した環境づくりに取り組んでいます。

* DEI : Diversity Equity Inclusion

環境活動

地球環境を守るため、脱炭素社会の実現に向けた環境方針と目標を定め、その目標を達成するために継続的な改善活動に取り組んでいます。

品質保証活動



バドミントン部

日本のトップチームとして、競技の普及やジュニア選手の育成、地域の皆さまとの交流を図っています。また、実業団リーグでは毎年上位に入賞し、個人戦では国内はもとより、日本代表選手として国際大会でも活躍しており、会社全体でバドミントン部を応援しています。



【2024年度 成績】日本ランキングサーキット大会優勝、サイパンインターナショナル優勝 など

株式会社 日立情報通信エンジニアリング
<https://www.hitachi-ite.co.jp/>

ホームページ



blog



Facebook



X



お問い合わせ



PDF 画面からは QR コードをクリックまたはタップで該当ページが開きます。